

-----8月24日-----

2015年

※ 今週のアウトルック (8/24~8/28)

先週は、世界経済の先行き不透明感が強く意識されたことなどから、米ドル売りが大きく進みました。

週中あたりから、米国マクロ指標などのあまり良くない結果をきっかけに、少しずつ米ドル売りが進んでいたのですが、週末には株安、原油安が大きく進み米ドル売りに拍車がかかった形です。

今週は、週明けの東京市場から欧州市場の株の動きがまず注目されるころだと思います。下げ止まり感が持てない状況で進んでいった場合は、株安、米ドル売りがもう一段進む可能性が高くなるように思います。

先週ドル円は、週末に122円付近まで下げて終了しています。株安、原油安のからのリスクオフムードが、まず米ドル売りを誘っているようです。

今週は、まず株安がどこまで進むかを見極めたいところですが、万が一NYダウが、16000ドルを割るようなことがあった場合には、120円割れが意識される展開となるように思います。

ドル円の予想レンジは119円から124円です。

先週ユーロは、米ドル売りの反動からユーロドルを中心に上昇しています。今週は、この買い戻しがどこまで続くのかが焦点となりそうですが、ユーロドルの1.145から1.15付近のレジスタンスを、まず超えられるかどうかは課題となりそうです。もしクリアできた場合は、ユーロ円も141円を超えて本格上昇トレンド入となる可能性が高まりそうですが、その可能性は3割から4割程度と考えています。

ユーロ円の予想レンジは137円から143円です。

ポンド円は、米ドル安の影響を受けて、191円台まで下落しています。今週、米ドルがもう一段下落した場合は191円を割り、上昇トレンドは一旦終了する可能性が高まりそうです。

ポンド円の予想レンジは185円から195円です。

今週は、株などの割安感などから買い戻しが進み、ドル売なども一旦は沈静化に向かうとする予想も多いようですが、中国株や原油安には止めがかからず、リスクオフセンチメントが強くなった場合には、ドル売りがもう一段進む可能性が高まるように思います。

**\*免責事項\***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。